

# COT LGC (COCOSTA) V5

設定ガイド — 英語メニューを日本語で完全解説

## はじめに

---

「英語だから何を選べばいいかわからない」という声をいただいたので、このガイドを作りました。

安心してください。設定項目は大きく分けて**4つだけ**です。

一つずつ見ていけば、5分もかからず設定が完了します。

## 設定画面の開き方

---

チャート下部に表示されているインジケーター名「COT LGC (COCOSTA) V5」の横にある**歯車アイコン (⚙)** をクリックしてください。

パラメーター設定画面が開きます。「パラメーター」タブが選ばれていることを確認してください。ここに、今回解説する4つの設定項目がすべて並んでいます。

## ① CFTC Code — どの市場のデータを見るか？

### これは何？

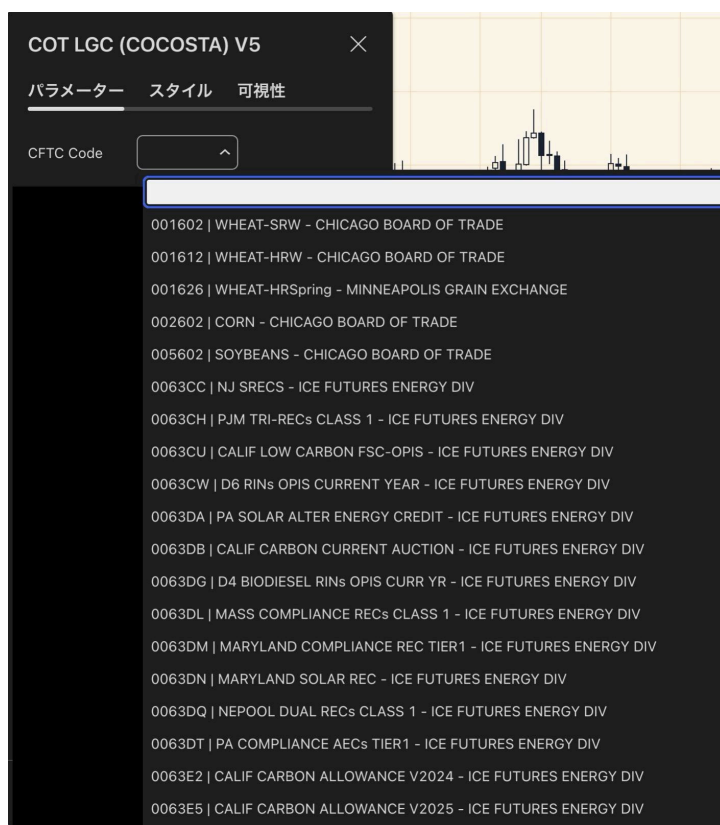
見たい市場（銘柄）を指定する場所です。

たとえば「ドル円のCOTデータが見たい」「原油が見たい」「ゴールドが見たい」というとき、ここで対象を切り替えます。

### どう使うか？

ドロップダウンをクリックすると、銘柄の一覧が表示されます。

一覧は「**6桁のCFTCコード** | **銘柄名 - 取引所名**」という形式で並んでいます。



CFTC Codeのドロップダウン画面

001602 | WHEAT-SRW - CHICAGO BOARD OF TRADE

002602 | CORN - CHICAGO BOARD OF TRADE

005602 | SOYBEANS - CHICAGO BOARD OF TRADE

銘柄名が英語なので少し戸惑うかもしれませんが、別途お渡しする「**CFTC Code 日本語対照表 (Excel)**」を手元に置いておけば、迷うことはありません。

## 基本的に、触らなくてOKなケース

CMEの標準的な先物ティックャーシンボル（たとえば**6J1!**や**GC1!**など）をチャートに表示している場合は、インジケーターが自動で認識してくれます。手動で選ぶ必要はありません。

## 手動で選ぶ必要があるケース

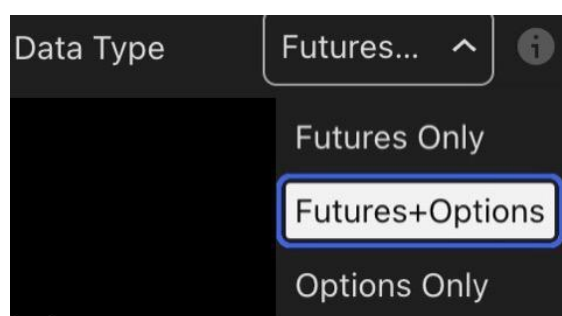
USD/JPYやXAUUSDなど、**OTCブローカー経由のティックャーシンボル**を使っている場合は、自動認識ができません。そのときだけ、このドロップダウンから該当する銘柄を手動で選んでください。

## ② Data Type — どのデータ範囲を含めるか？

### これは何？

COTデータに「オプション市場のポジション」を含めるかどうかを選ぶ設定です。

シンプルに言い換えると、先物市場のデータだけを見るか、オプション市場のデータも合わせた「全体像」を見るかの切り替えです。



Data Typeのドロップダウン画面

### 3つの選択肢

選択肢	意味
<b>Futures Only</b>	先物市場のポジションだけを表示します。
<b>Futures+Options</b>	先物とオプション、両方のポジションを合算して表示します。
<b>Options Only</b>	オプション市場のポジションだけを表示します。

### おすすめ設定

通常は**Futures+Options**がおすすめです。

なぜかという、大口のヘッジファンドや商業筋は、先物だけでなくオプションも組み合わせてポジションを構築しているからです。先物だけを見ると、彼らの全体像が見えない場合があります。

ただし、すべての市場でオプション市場が活発なわけではありません。通貨や原油、ゴールドなどはオプション市場も活発ですが、一部のマイナー市場ではオプション取引がほとんどないこともあります。

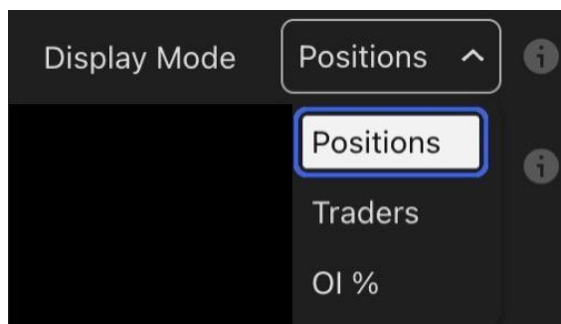
迷ったら、まずは Futures+Options にしておけば問題ありません。

## ③ Display Mode — データをどう表示するか？

### これは何？

同じCOTデータを「どんな切り口で見るか」を切り替える設定です。

カーナビの「地図表示」を切り替えるようなイメージに近いかもしれません。同じ道路データを使っていても、「通常の地図」で見るか「渋滞情報付き」で見るか「航空写真」で見るかで、まったく違う情報が浮かび上がりますよね。Display Modeも同じです。



Display Modeのドロップダウン画面

### 3つの選択肢

選択肢	意味
Positions	もっとも基本的な表示です。各カテゴリーが何枚のポジションを持っているかを実数で表示します。
Traders	ポジションの「枚数」ではなく、「何人（何社）がその方向にポジションを持っているか」を表示します。
OI %	建玉全体に対して、各カテゴリーが何パーセントを占めているかを表示します。

### それぞれ、いつ使うと便利？

**Positions (枚数)** は、まず最初に見るべき基本の表示です。投機筋がネットロングなのかネットショートなのか、その水準がどのくらいかを掴むのに最適です。

**Traders (トレーダー数)** は、特にドル円のような市場で威力を発揮します。大口のヘッジ注文が枚数を歪めてしまう市場では、「何人が買い方向にいるか」を見た方がセンチメントの動きがクリアに見えることがあります。

**OI % (比率)** は、異なる時期のデータを比較するときに便利です。建玉の絶対枚数は年々変動しますが、比率にすることで「建玉全体のうち投機筋が30%を占めている」というように、時期に関係なく水準を比較できます。

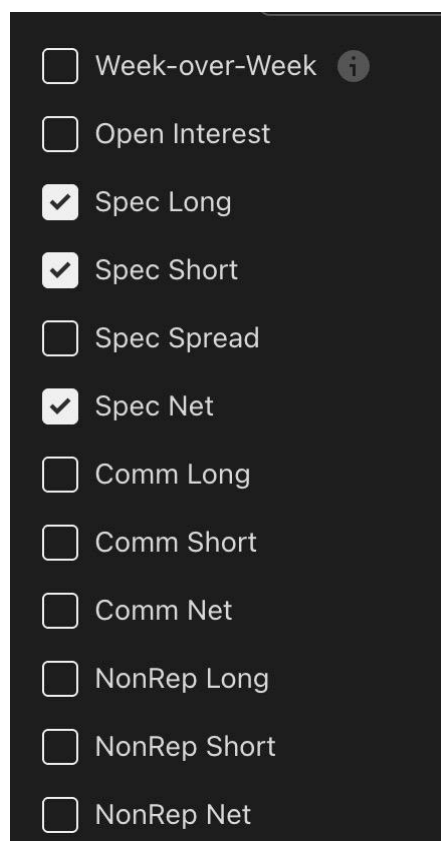
まずは Positions から始めてください。慣れてきたら Traders に切り替えて「見え方がどう変わるか」を比べてみると、分析の引き出しが一つ増えます。

## ④ チェックボックス — 何を画面に表示するか？

### これは何？

チャート上に、どのデータラインを表示するかを選ぶ場所です。

レストランのメニューから「今日食べたいもの」を選ぶ感覚に近いです。全部注文する必要はありません。今の自分が見たいものだけを選べばOKです。



A dark-themed settings menu with a list of checkboxes. The checked items are Spec Long, Spec Short, and Spec Net. The unchecked items are Week-over-Week, Open Interest, Spec Spread, Comm Long, Comm Short, Comm Net, NonRep Long, NonRep Short, and NonRep Net. There is an information icon (i) next to the Week-over-Week checkbox.

- Week-over-Week ⓘ
- Open Interest
- Spec Long
- Spec Short
- Spec Spread
- Spec Net
- Comm Long
- Comm Short
- Comm Net
- NonRep Long
- NonRep Short
- NonRep Net

チェックボックスの一覧画面

### 表示項目の一覧と意味

項目名	意味
Week-over-Week	前の週からどのくらいポジションが変化したかを表示します。「変化の勢い」を見たいときに使います。

<b>Open Interest</b>	市場全体の建玉（未決済の総ポジション数）を表示します。市場全体のお金の出入りを見るイメージです。
<b>Spec Long</b>	投機筋（Speculator）の買いポジション枚数です。
<b>Spec Short</b>	投機筋の売りポジション枚数です。
<b>Spec Spread</b>	投機筋が同時に買いと売りの両方を持っている部分（スプレッドポジション）です。
<b>Spec Net</b>	投機筋のロング - ショート = ネットポジションです。プラスなら買い優勢、マイナスなら売り優勢です。
<b>Comm Long</b>	商業筋（Commercial）の買いポジションです。
<b>Comm Short</b>	商業筋の売りポジションです。
<b>Comm Net</b>	商業筋のネットポジションです。
<b>NonRep Long</b>	報告義務のない小口参加者の買いポジションです。
<b>NonRep Short</b>	小口参加者の売りポジションです。
<b>NonRep Net</b>	小口参加者のネットポジションです。

## おすすめの初期設定

まずはこの**3つだけ**チェックを入れてください。

- Spec Long（投機筋ロング）
- Spec Short（投機筋ショート）
- Spec Net（投機筋ネット）

これで、投機筋の動きがチャート上に表示されます。

市場のセンチメントの変化はまず投機筋の動きに表れます。ここを起点にして、必要に応じて CommercialやOpen Interestを追加していくのが、情報過多にならないコツです。

## よくある質問

---

### Q: 設定画面が英語ですが、日本語にできますか？

残念ながら、TradingViewのインジケーター設定画面は英語表示のみです。ただし、設定項目は今回このガイドで解説した4つだけですので、このガイドを手元に置いておけば困ることはないはずです。

### Q: CFTC Codeで銘柄が見つかりません。

ドロップダウンの上部にある検索ボックスに、英語の銘柄名やCFTCコード番号を入力してみてください。別途お渡しする「CFTC Code 日本語対照表」で該当する英語名やコードを確認できます。

### Q: Week-over-Weekとは何ですか？

前の週と比べてどのくらいポジションが変化したかを表示する機能です。講義のDay 39で学ぶ「前週比」の考え方をツール上で確認できるようになった、というイメージです。

## まとめ

---

設定項目をもう一度振り返ります。

① **CFTC Code** → どの市場を見るかを選びます。CME標準銘柄なら自動認識されるので、基本的には触らなくてOKです。

② **Data Type** → データにオプションを含めるかを選びます。迷ったら「Futures+Options」にしてください。

③ **Display Mode** → 枚数で見るか、人数で見るか、比率で見るかを切り替えます。まずは「Positions」から始めてください。

④ **チェックボックス** → 画面に表示するデータラインを選びます。まずは投机筋の3つ（Spec Long / Short / Net）だけで十分です。

設定は、一度決めてしまえば毎回変える必要はありません。まずは今回の「おすすめ設定」で表示してみて、講義が進むにつれて少しずつ設定を変えていく。それが一番自然な学び方です。

---

## ココスタ・トレーディングカレッジ講師陣より

トレーディングカレッジ | 迷わず学べるCOT講座 - 設定ガイド